

2023

同友しずおか

4

「入ってよかった」「続けてよかった」「企業も地域もよくなった!」

VOL.533



私の逸品

(有)朝生シーリング

技術と知識の融合
～本格的なドローン調査～

～互いに支えあい、励ましあい、助けあう～

私たちは地域にあってよかったと言われる同友会であり続けます



静岡県中小企業家同友会

同友会で経営者が変わる、社員が変わる、会社が変わる。



中小企業家同友会とは

静岡同友会は1974年に71名の経営者が呼びかけあい、設立されました。約1,100名の経営者が、「経営体質の強化」「経営者の能力向上」「経営環境の改善」をめざし、活動しています。全国各地で開催される全国大会をはじめ、県全体で行う定時総会・全県経営フォーラム、また、経営課題別の専門委員会、県下11支部での活動、行政や関係諸団体との懇談、連携等、多岐に亘る活動をしています。

同友会3つの目的

1 よい会社をつくろう

同友会は、ひろく会員の経験と知識を交流して企業の自主的近代化と強じんな経営体質をつくることをめざします。

2 よい経営者になろう

同友会は、中小企業が自主的な努力によって、相互に資質を高め、知識を吸収し、これからの経営者に要求される総合的な能力を身につけることをめざします。

3 よい経営環境をつくろう

同友会は、他の中小企業団体とも提携して、中小企業をとりまく、社会・経済・政治的な環境を改善し、中小企業の経営を守り安定させ、日本経済の自主的・平和的な繁栄をめざします。

- 社長はいつも孤独
- 経営の悩みを相談する仲間ができた
- 経営の成功体験しか聞けない
- 失敗談から勇気とヒントをもらえた
- 目の前の仕事に追われる毎日
- 将来の会社のビジョンができた
- 指示待ち社員ばかり
- 自発的な社員が増えた

その答え、
同友会にありました。

会 員 募 集 中

経営者同士だからこそ話せる
悩み、解決へのヒント、将来への展望。
体験してみませんか？

静岡県中小企業家同友会 TEL/054-253-6130

◆静岡同友会 2025年ビジョン 「企業づくり・地域づくり・同友会づくり」

◆ 企業づくり ◆

私たちは、関わる全ての人々が「成長」と「幸せ」を実感できる企業をつくります

◆ 地域づくり ◆

私たちは、中小企業と地域が手を取りあい、人々の幸せが見える地域をつくります

◆ 同友会づくり ◆

私たちは、企業と地域を守る経営者の^{きょうじ}矜持と努力を結集し、
学び・気づき・ワクワク溢れる活動を通して県下1500名会員を実現します

新会員のご紹介 (敬称略) 会員数 1066名

| 氏名 | 社名・事業 | 所属支部 | 紹介者 | 氏名 | 社名・事業 | 所属支部 | 紹介者 |
|---------------|--|------|-------------|------------|--|------|-------|
| いわもと 岩本 浩周 | (株)ふじよし 貸切バス(観光バス) | 御殿場 | 石山 美歌 | わたなべ 渡辺 一茂 | OFFICE KW 品質管理、教育管理システム導入、サポート | 富士宮 | 栢森 宣好 |
| たかむら 高村 憲央 | (株)アラピカコーヒー コーヒー豆小売・卸し | 沼津 | 藤原 博美 | ふくよ 福世 裕子 | (有)福世オートサービス 新車・中古車販売、車検点検、一般整備、損保保険取扱い | 榛南 | 杉本かつ行 |
| いで 井出 正員 | F.C.エンジニアリング 自動車・自動二輪車車両及びパーツ販売、フィルムカメラ輸出販売 | 富士宮 | 井出 正尊 | やまもと 山本 大 | Golfer's Base ゴルフ練習場、パーツ販売 | 榛南 | 中野 博美 |
| か せざわしん 加瀬澤真吾 | 加瀬澤組 土木工事、舗装工事 | 富士宮 | 宇佐美健介 威頼 | おおいし 大石 親嗣 | (株)ダイシン 小型自動車部品の成形、組み立て | 榛南 | 山本 明秀 |
| たけかわ 竹川 大葵 | 葵塗装 一般建築塗装 | 富士宮 | 井出 正尊 | あしまた 三島 一浩 | サンレイ食品(株) 冷凍食品の製造、卸売り | 浜松 | 江間 省豪 |
| ふかざわ 深澤 亮 | (株)J&C 化粧品包装、紙製品加工、健康食品加工等 | 富士宮 | 磯辺 嘉将 | よしまさ 吉政 貴志 | (株)トレードシステム ホームページ作成、サーバー管理、防犯カメラ設置 | 浜松 | 江間 省豪 |

名義変更による新名義人(敬称略)

| 氏名 | 社名・事業 | 所属支部 | 旧名義人 |
|-----------|----------------------|------|-------|
| みずの 水野友太郎 | (株)榛南自動車学校 自動車教習所 | 榛南 | 水野 悦裕 |

※新会員の写真はe.doyu「ユーザ名簿」に掲載します。e.doyuからのご確認をお願い致します。



技術と知識の融合 ～本格的なドローン調査～



エンジン駆動のラジコン飛行機 “零戦”

(有)朝生シーリング (榛南支部)

代表取締役 江刺 浩昭氏

父親の影響で始めた ラジコン飛行機

(有)朝生シーリングの江刺浩昭氏は、30代の頃に趣味でラジコン飛行機を始め、20年以上のキャリアを持つベテラン操縦士です。幼少期に父親がやっていたラジコン飛行機に興味を持ちましたが、操作の難しさと墜落のリスクや怪我をさせてしまう可能性から子供だった頃の江刺氏には絶対に貸してもらえなかったそうです。一言にラジコン飛行機とは言っても、バッテリー駆動の飛行機やエンジンを積んだ飛行機、大小も様々で、操作感もそれぞれ違うそうです。写真にある零戦のラジコンはエンジン駆動で、大人でも抱えなければ運べないほど大きな機体です。『私の逸品』として、こちらの機体を紹介するか迷ったほどのラジコンでした。

ドローンの登場からビジネスへ

ドローンが登場して所属している飛行クラブでも飛ばす機会があったようです。普段、常に空中を高速で動くラジコンを操縦している身からすると、GPSを内蔵していて勝手にホバリングしているドローンの操作は簡単過ぎて面白くなかったようで、早い段階で興味から外れて



ラジコンを操縦する江刺氏

しまい、当初はビジネスに繋げようとも思えなかったと言います。その後、ラジコンのキャリアを知っている設計士から頼まれて仕事に繋がった事がきっかけで、初めてビジネスとしての活用に目を向け始めました。高所の点検など、本来は足場を組むか高所作業車で直接確認しなければならなかったものが、短時間での調査が可能になり、費用面でも安く仕事をする事が可能になりました。しかし、しっかりと安全マージンを取り技術を過信することをしないのは、長いキャリアを持つパイロットであり、危険さを知っているからこそでしょう。

事業としてのドローン活用

今ではドローンの存在も一般化され、様々な用途に使われ始めていますが、2015年12月の航空法改正により、安全運行管理や国土交通大臣への飛行承認申請手続きなどが必要になり、2022年6月20日の改正により、機体登録が義務化されました。そして免許制の導入と、参入ハードルも上がってきました。そんな中、江刺氏が主に行っているのがドローンでの建築調査です。ドローン調査に欠かせないのが、ドローンの操縦技術と調査内容に関連する建築関連



事業を支える3台のドローン

(有)朝生シーリング

〒421-0404 牧之原市静谷1015-5

TEL : 0548-22-9810

URL : <https://as-drone.com/>

設立 2001年10月2日

社員数 5名

入会年月 2003年3月

事業内容 塗膜・注入・樹脂・複合等各種防水工事一式、一般住宅等建築物の外壁工事一式他、ドローン調査

知識です。本業で建築事業を営んでいる江刺氏にとっては、ドローン調査にはもってこいのパイロットなのです。最近では一番得意な防水事業の知識に加え、サーモグラフィカメラを搭載した産業用ドローンを導入し、漏水の調査などが容易になっていくようです。専門知識があるからこそ活躍するプロパイロットの技術は、江刺氏にとって大きな強みとして、確実に新事業のドローン調査を支えています。

取材・記事：河内崇文氏

(株)スマートブレイン・榛南支部

取材：伊藤義康氏

(イトウシャヤテイ)・榛南支部

会員訪問記

「愛・幸せ」人の心、地域に寄り添う経営

(有)すみ企画
代表取締役 稲葉純子氏 (富士宮支部)



稲葉 順子氏

複数の美容室店舗展開、福祉サービス、ペットの美容など他店舗展開・関連サービスを手掛けるすみ企画の2代目社長の稲葉純子氏。都内の美容学校で学んだ後に修行期間を経て富士宮に帰省し、

平成9年に母親が社長をつとめる同社に入社しました。娘だからと甘やかされることなく、アシスタントとして1から厳しく先輩社員に鍛えられます。やがてチーフや店長、幹部へと昇



社員との決起大会

進していくのですが「母〃社長から任されたのではなく、社長をずっと支えてきた幹部に推薦されて役を任された。」と話す稲葉氏古参社員から実力を認められた事が本心に嬉しかったそうです。

事業承継に向けて・・・
社長との議論

経営にも参画するようになってから、人、地域を大切にするという基本的な気持ちは全く同じなのに、社長とは経営に関する議論も多く、「出ていってやる！」というくらい衝突した事もありました(翌日にはお互いケロツと仕事をしていたそうですが)その後創業45周年を機に社長交代。以前はあれだけぶつかったのに、交代してからはあれこれ口を挟まず本心にしっかり任せてくれていた事に、敬意と感謝の気持ちを持って、経営に取り組んでいます。

同友会に入ってよかった

同友会には美容室のお客様でもあった宇佐美健介氏(㈱エージェ

ントうさみ・富士宮支部)の紹介で入会しました。当初お誘いを受けてから3年近く悩んでましたが、コロナを機に状況も変化したことから入会を決意。自分の中で地域を大切に、と言いながら知らないことが多すぎたことを痛感。苦勞されている多くの経営者の仲間を目的にしたりして、自分だけが苦勞しているのではない、むしろまだ生ぬるかったと、学ぶ事が多くありました。仲間の商品やサービスをとり扱うことも増え、同友会ならではのコラボも行っていきます。

今後の展望 やりたいことがたくさん！仲間とともに！

今年創業50周年を迎えるすみ企画。これまでも、障がい者やがん患者さんへの美容サービスの提供をはじめ、地域に密着し独自性のある経営を行ってきました。独自の文化も多々あり、ワンダフルカードというカードでスタッフ同士が素晴らしさを褒め合える環境づくりをしたり、社長自ら「社長メシ」を作って各店舗に配って社員との交流をはかったりと、お客様



社員同士が素晴らしさを褒め合うワンダフルカード



稲葉氏が創る「社長メシ」

の心はもちろん、スタッフの心も胃袋も、がっちりキヤッチしながら日々取り組んでいます。経営ビジョンやスローガンにかかげた「愛」「幸せ」のもとに、スタッフ、地域の仲間とともに今までにないものもつくりながら、100年企業を目指す、とさらなる希望に燃えています。

取材・記事：田邊 元裕氏
(㈱カボス・富士宮支部)

(有)すみ企画

〒418-0042 富士宮市貴船町9-24

TEL : 0544-27-6408

URL : <http://www.sumikikaku.jp/>

創業 1973年10月

社員数 44名

入会年月 2021年3月

事業内容 美容室、犬の美容室、
送迎美容

5月22日(月) 静岡同友会第50回定時総会

記念講演講師の株式会社生活の木 代表取締役CEOの重永忠氏を訪問

人財育成は経営者の最大の使命
〜理念経営で生み出すWell-beingな

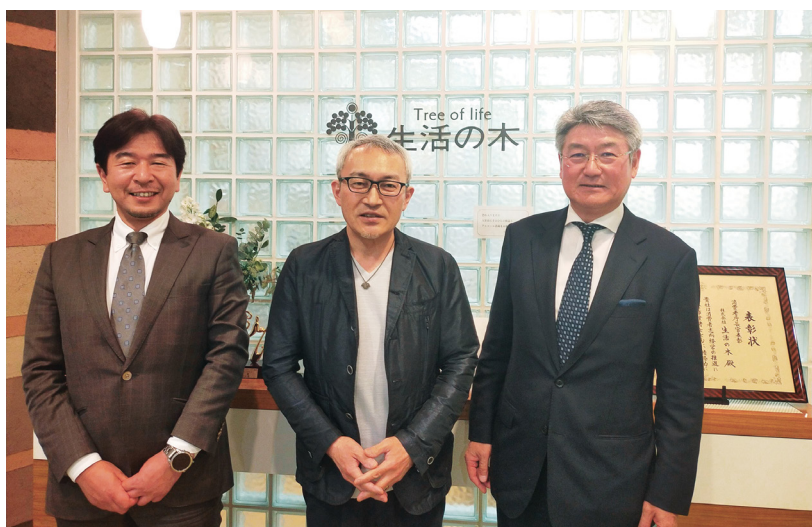
組織づくり、ブランディング戦略〜

5月22日(月)は第50回定時総会が開催予定です。総会議事後の記念講演では、株式会社生活の木、代表取締役CEOの重永忠氏が登壇します。重永氏は1961年原宿表参道生まれ。モットーは「自然に・健康に・楽しく生きる」。同社はハーブ、アロマテラピー文化を創造し、現在まで2500アイテムの商品を開発。「生活の木」「ハンドメイドギルド」など10業態の直営専門店を展開し、全国に直営店120店、提携店100店、カルチャースクールやスリランカでネイチャールゾートホテルも経営しています。静岡では松坂屋静岡店、新静岡セノバ店を展開しています。2009年に経営コンサルティング会社が実施した社員満足度調査にて、東日本エリア1100社中1位に輝きました。Well-beingとは、「心身ともに健康で幸福である状態であることを言います。経営理念は、「自然」「健康」「楽しさ」を提供することにより、生活の木に関わるすべての人の生活を豊かにする。

過日3月13日(月)、井上代表理事、簗代表理事、秋山事務局長にて、生活の木・重永社長を訪問しました。同友会の企業づくりで提唱する経営指針の実践。重永氏の経営姿勢も同様でした。時代が移り行く中でも常に「理念経営」を貫き、「かけがえのない家族」と語る社員一人ひとりの人生にコミットしていく経営姿勢。そして、誰もやったことのないアロマテラピー分野への挑戦。原材料調達、製造、物流、販売、カルチャースクール。だからこそ、生まれた「自前主義」。日本にアロマという「文化」を築き、業界トップ企業へ育てた苦悩の連続と成果、そしてWell-beingの実現への挑戦。ここではすべてを言い表せませんので重永氏の生講演、定時総会にぜひご参加ください！

講演テーマは「人財育成は経営者の最大の使命〜理念経営で生み出すWell-beingな組織づくり、ブランディング戦略〜」で決定しました！

5/22(月)定時総会は、総会議事・記念講演・懇親会を行います。懇親会は実に4年ぶりです。本総会は会歴問わず、すべての会員皆様を対象です。出欠回答はe.doyuスケジュールからご回答ください。



重永忠氏(中央)を井上・簗代表、秋山局長が表敬訪問

日時 2023年5月22日(月) 14:00~18:30 13:15~受付開始
(全体会・総会議事 14:00~15:05 記念講演 15:25~16:50 懇親会 17:00~18:30)

会場 ホテルグランヒルズ静岡
(静岡市駿河区南町18-1 JR静岡駅南口徒歩1分)

参加費 6,000円
(5/16(火)以降は参加費全額ご負担いただきます)



e.doyuへのアクセス
はこちらから！

★出欠のご回答はe.doyuよりお願いします！
詳細は4月広報誌同封の案内をご確認下さい！

第53回中小企業問題全国研究集会 in 長野

今、この瞬間が未来をつくる

地域が変われば日本が変わる



3月2日(木)～3日(金)に中小企業問題全国研究集会(以下、全研)が長野県長野市で開催されました。テーマは「今、この瞬間が未来をつくる」地域が変われば未来が変わる」。全研としては2020年に京都で開催されて以来の現地開催となり、当日は47同友会と中同協から総勢1356名(オンライン含む)が参加、静岡同友会からは35名が参加し、分科会や記念講演を通して学びを深めました。

1日目の分科会では、第6分科会に静岡同友会から大関泉氏(株)ジー・ディー・エス/浜松支部長)が報告者、秋山英正氏(浜松資材(株)/浜松副支部長)が座長として登壇。現地とオンラインの16分科会で学びあいました。2日目の全体会では開催地を代表して松本克幸長野同友会代表理事があいさつ。続いて主催者を代表して広浜泰久中同協会長、来賓として阿部守

一長野県知事が登壇、萩原健司長野市長からはビデオメッセージが寄せられました。その後、1日目の分科会を代表して3つの分科会の座長から分科会での学びと実践に向けた決意が共有されました。

記念講演は相澤孝夫氏(社会医療法人財団慈泉会理事長・最高経営責任者)が「経営者として、いま何をなすべきか!」覚悟の先にある未来のために「」をテーマに講演しました。赤字経営だった相澤病院を再建した同氏。先行き不透明な時代だからこそ、目的を明確化すること、ビジョンの重要性を語りました。講演の最後に「企業経営を継続するためには、人を育て、人を活かし、未来を共有する仲間を増やし、しなやかで強靱な組織づくりが大切である」とまとめました。相澤氏の講演後、相澤病院所属のオリンピック金メダリスト小平奈緒氏がサプライズ



熱気溢れる分科会会場

で登場。参加者にエールを送り、会場は興奮と感動に包まれました。

最後に2日間のまとめを中山英敬中同協幹事長が行い、次回開催地である三重同友会にバトンを渡しました。

また、1日目の終了後には静岡同友会から参加した会員有志で懇親会を開催。初めて参加したメンバーも含め、全国大会に参加する魅力を再確認する時間となりました。

★次ページに大関泉浜松支部長が報告した第6分科会の概要、第3分科会に参加した塩見康平氏の分科会感想を掲載しています!

第6分科会で大関泉浜松支部 長が登壇。地域を巻き込んだ 企業づくりへの想いを語る

「世の中から必ず必要とされる企業を目指す」G・D・S100年企業ビジョンで企業と地域の未来を切り拓く」をテーマに、大関泉氏（㈱ジー・ディー・エス／浜松支部長）が報告者として登壇。同社は生命を維持する基本となる飲食事業、生産者を育てるグローバルサプライ事業、新たなものを生み出す情報ネットワークコンサル



座長を務めた秋山英正氏（左、浜松資材㈱）と報告者の大関泉氏（右、㈱ジー・ディー・エス）

事業を3本の矢として事業展開しています。

大関氏は地元浜松出身ではなく、社員から社長になり、財産もない、そんな環境の中で、放置竹林や地域野菜の消費を目的に地域と共同した事業を展開してきました。しかし、大規模新規事業の計画がコロナ禍で白紙に。本来の事業目的が置き去りになっていくことを反省し、社員や地域を巻き込み「浜松メンマ」事業を軸に再スタート。「諦めず最後までやり切れば、過去の失敗はプロセスになる。夢は捨てない」との決意の下、事業化に向け取り組んでいます。まとめとして100年企業ビジョンにある「絶対必要とされる企業」とは、地域や環境の為の事業をしている自慢の企業ということ。物理的には多くの雇用が発生し、地域内で連携を深め、結果として地域の人、社員が企業の応援団になってくれる企業です。しかし、このような取り組みを行っている企業は全国にいくつかあります。今、私たちに出来ることはその多くの企業の商材や取組を知り連携し賛同参画し、消費者として貢献をしていくことで地域を創生していくことだと思います。」と参加者に伝えました。

★参加者より感想をいただきました★ 第3分科会 「事業定義の見直しから地域づくりへ」

報告者の松井健彰氏（松井エネルギー | モーターズ㈱ 代表取締役／富山同友会）は、外部環境の変化により厳しい業界といわれるガソリンスタンド事業。しかし地域の声に耳を傾けることを実践し、地域で必要とされる会社になることで業績を伸ばしています。人口減少が著しい地域で多角的に経営を行うきっかけになったのが、地域の人の為に事業を行う同社の在り方だと感じました。

また、松井氏は事業定義を社員と一緒に考え、自社の在り方を常に考えています。その時に合わせ、納得いくものに変えていく。自他ともに納得のいくものに変化していくのは、決して悪いことではないと感じました。バズセッションでは、今の自社の事業定義を突き詰めていきました。活発な意見が飛び交い他県の同友会会員とバズセッションを行うことで、私自身見えていなかった、自社の在り方が明確になっていきました。全国での刺激を持ちかえり、自社に活かしていきます。

塩見康平氏

（㈱オミプランテック・榛南支部）

県政策委員会主催

静岡県経済産業ビジョン学習会を開催

3月17日（金） 参加者：18名

静岡県経済産業部より渥美寿之産業政策課長、山下啓道地域産業課長にお越しいただき、静岡県が策定した「静岡県経済産業ビジョン2022～2025学習会」を開催しました。本学習会は、2022年7月に静岡同友会から静岡県へ提出した「2023年度にむけた静岡県への要望・提言」をもとに実現しました。

静岡県の総合計画「静岡県の新ビジョン後期アクションプラン」を実施するために策定された静岡県経済産業ビジョン。本ビジョンは総合計画の実施計画はじめ、中小企業振興基本条例の実現にむけた位置づけであることも明記されています。当日は渥美課長、山下課長より静岡県が実施している施策はじめ、県の今後の方針や計画、これまでの実施状況を説明いただきました。

当日の参加者からは「各地域の行政の方と話をするにはまず静岡県の方向性を知ることがとても大事だと感じた」と感想があり、静岡県が実施する施策を学ぶ貴重な機会となりました。

4月・5月

DOYU CALENDAR

4月16日(日)～5月15日(月)

| | | | |
|--------------|---|-------------|--|
| 4月 17日(月) | 第2回全県経営フォーラム実行委員会 (17:00 同友会会議室&ZOOM) | 5月 9日(火) | 静岡例会 (19:00 ペガサート予定) |
| 19日(水) | 志太総会 (18:30 はれの季 小杉苑) | 10日(水) | 御殿場例会 (19:00 未定) |
| 20日(木) | 伊東総会 (18:00 伊東ふれあいセンター3階多目的ホール) 三島総会 (18:00 みしまプラザホテル) 富士総会 (18:10 ロゼシアター&ZOOM) 榛南総会 (18:00 うおとも) 中遠総会 (19:00 割烹・食事処 辻菊) | 11日(木) | 正副代表理事会 (15:00 同友会事務局&ZOOM) |
| 21日(金) | 県組織増強委員会 (17:30 同友会事務局&ZOOM) 県政策委員会 (18:00 同友会事務局&ZOOM) | 12日(金) | 富士宮例会 (19:00 志ほ川バイパス店) |
| 25日(火) | 県例会企画委員会 (18:30 同友会事務局&ZOOM) | 15日(月) | 第20期経営指針を創る会 オリエンテーション (19:00 同友会事務局&ZOOM) |
| 27日(木) | 県理事会 (15:00 同友会事務局&ZOOM) | | |

《 あなたのスケジュールノートに
必要事項をご記入ください 》



2023年度全県経営フォーラム実行委員会が始動!! 第37回全県経営フォーラムは11月15日(水)開催予定です! ぜひご予約ください!

2023年11月15日(水)に開催される第37回全県経営フォーラムにむけ、第1回全県フォーラム実行委員会を3月30日(木)に開催しました。ペガサート会議室(静岡市)とZOOMのハイブリッドで行い、10支部から30名が参加。フォーラムへの意気込みや本フォーラムの軸となる「磨き直し」について、自社や地域、同友会活動と照らし合わせながら意見交換を行いました。フォーラム実行委員会では全体会・記念講演の企画をはじめ、分科会づくりも進めていきます。随時情報発信していきますのでお楽しみに!



今井 靖氏

2024年度も毎月第4金曜日にイントロセミナーを開催していきます。ぜひお知り合いの経営者にご参加ください!

オプザーバーや新会員にむけて同友会を知って頂く機会として、また仲間との交流の場として毎月開催しているイントロセミナー。3月は17名が参加。静岡市葵区で自動車整備、新車・中古車販売業などを営む今井靖氏(株)カルゴ代表取締役/静岡支部)が報告しました。同社は自動車の修理を中心とし、旧車や外車、クラシックカーなどを扱っています。はじめて社員を雇ったとき、サラリーマン時代に部下を持ったことはあるものの、経営者として雇うことは全くの別物と気づきます。セミナーへの参加をきっかけに社員とのコミュニケーションを改善していきましました。しかし、社員の退職がつづき、経営者としての在り方への悩みも増えていきました。そんな中同友会へ入会、第19期の経営指針を創る会に参加しました。1から立て直す気持ちで参加し、経営理念、自事業の定義を明確にしました。今井氏は、報告の中で「本当は自分が何をしたかったのか、しっかりと向き合うことで経営の軸ができた」と力強く語りました。

3月イントロセミナー
経営指針書実現に向けて一歩前進!
クラシックカーに乗る
楽しさとこだわりの場を提供!
3月24日(金) 同友会会議室&ZOOM